

教育協議会研究

○平成17年度東山梨教育協議会研究の概要 ----- 71

○教育研究部会研究

日本語	小学校	-----	75	生活科	-----	103
	中学校	-----	77	自治的諸活動	-----	105
外国語		-----	79	生活指導	-----	107
社会		-----	81	障害児教育	-----	109
算数数学	算数	-----	83	福祉教育	-----	111
	数学	-----	85	食教育	-----	113
理科		-----	87	平和・人権教育と国際連帯	--	115
音楽		-----	89	環境教育	-----	117
美術・図工		-----	91	情報化社会と教育・文化活動		119
技術科		-----	93	保護者・地域住民との連携	--	121
家庭科		-----	95	教育条件整備	-----	123
保健体育	小学校	-----	97	カリキュラムづくりと総合学習		125
保健体育	中学校	-----	99	教育評価	-----	127
保健教育		-----	101			

2005年度 東山梨教育協議会研究の概要

研究推進委員長 久保田 英樹

I はじめに

東山梨教育協議会は、東山梨地域全体の教育振興を願って、1964年(昭和39年)に校長会・教頭会・教連の三者が、県教委、各地教委の協力により設立して41年が経過している。41年間の活動の中で私たちは「平和を守り、真実を貫く民主教育の確立」のスローガンののもと、平和で民主的な社会を作るための教育研究・実践が重要であることを確認し取り組んできた。また、管理職、教諭、専門職員が協同して組織研究を進め、東山梨地域の学校教育の向上、教職員個人の質的な向上、教職員相互の強固なネットワークの構築をはかってきた。

しかしながら、昨今の学校教育を取り巻く環境は非常に厳しさを増してきている。特に、日本の社会の急速な「二極化」は教育現場にもその影をじわじわと伸ばしつつあり、地域格差、学校間格差や、もてる者と持たざる者の格差へとつながりつつある。また、2002年から「ゆとり教育」をめざしはじめた学習指導要領は、学力低下を危惧する声の高まりとともに批判にさらされ、ドリル学習が重視されたり、競争によって学力を付けていこうとする動きへと大きく振り子が振り戻されてきている。

このような中であって、私たちは、常に子どもたちのことを中心に据えて教育課題に取り組んでいかなければならない。こうした昨今の教育を取り巻く厳しい状況の中にあってはなおさらである。私たち教職員は改めて、目の前の子どもたちの状況をしっかりと見つけ、21世紀の豊かな教育の創造をめざし、全ての子どもたちを「学びの主体」として、その人権・学習権を保障し、「共に生き、共に学ぶ」教育を積極的に進めていかなければならない。そして、さらに、各教科・領域の指導の中で、子どもたちにとって本当に大切なものは何かを改めて考え、どの子にも楽しくわかる授業実践・教育実践を工夫する中で、真に「子どもたちの学び」を保障する取り組みを進めるていきたいと考える。

II 研究の推進について

1 研究の目標

基本目標 「平和を守り真実を貫く民主教育の確立」「国民の教育権の確立」
統一テーマ 「人間性豊かな子どもの育成とその学習を保障する教育活動の探究」

2 研究推進の基本方針

- (1) 教協研究の歴史的重みを重視し、東山の抱える教育問題解決のための研究を推進する。
- (2) 自主創造的な教育課程編成運動の取り組みを強化推進する。
- (3) 各学校の校内研究との有機的結びつきとその充実を図る。
- (4) 家庭・地域住民との連携を強化する。
- (5) 組織研究を充実発展させるために、積極的な参加意識の高揚と組織的参加体制の確立を図る。
- (6) 平和・人権・環境教育を積極的に推進し、生命の尊さや平和の大切さの意識高揚を図る。

3 研究の組織づくり

研究の基底は校内研究にあるとの認識に立ち、課題の本質に迫り、解決の方法・内容を

考えたり、専門的力を高める教育研究部会と、同じ地域に勤めるものが課題を共有し、連携をはかりながらその解決策を探るブロック交流研究会、さらに特別委員会を設け教協研究を推進した。以下、具体的に掲げる。

(1) 教育研究部会

共通テーマ

「人間性豊かな子どもの育成と教科教育課程の自主創造的な編成をめざし、教育の本質を実践的に追究する。」

部会名		部長名	所属校	部会テーマ
日本語教育	小学校	志村貴美子	山梨小	豊かな表現力の育成 －伝えあう力を高める指導の研究－
	中学校	田辺 秀樹	松里中	
外国語教育		辻 由樹	勝沼中	基礎学力をつけるための指導の工夫
社会科教育		古屋 勝之	山梨南中	科学的・社会認識を育てる授業研究
算数・ 数学科教育	算 数	渡辺 光章	菱山小	子どもとつくる楽しい授業の創造 －楽しく学び、高め合う算数学習をめざして－ わかる授業の工夫と授業実践 －基礎学力の定着と考える力の育成－
	数 学	佐野 厚子	塩山中	
理科教育		鈴木 学	笛川中	わかる理科授業の創造
音楽科教育		前田 文	菱山小	音楽大好き！ ～音楽のよさや美しさを感じたり表現したりしよう～ 一人ひとりの力を引き出す題材と支援のあり方
美術・図工科教育		平井真知子	山梨南中	特色ある栽培学習
技術科教育		岡田 強	大和中	感じとり体験して生きる力が育つ授業作り －選択授業を通して－
家庭科教育		石田 周子	山梨北中	教材の本質をふまえた体育指導のあり方
保健体育科教育 (小学校)		中村 亮二	後屋敷小	体育分野における授業の効果的な指導法 －指導形態や場の工夫－
保健体育科教育 (中学校)		小宮山茂樹	松里中	自らの健康づくりに意欲的に 取り組む子どもをどう育てるか
保健教育		駒田 葉子	大和小	意欲的に生き生きと活動する子どもの育成 一人ひとりの自立をめざした学級づくり すべての子どもへの心理的・教育的援助のあり方 ～自立をふまえて(どの子も共に生き共に育つ)～
生活科教育		津野 千尋	三富小	小学校における福祉教育のあり方をさぐる
自治的諸活動		橋本 尚一	加納岩小	心身共に健康な食習慣を 身につけることのできる子どもの育成
生活指導		飯島 聖華	山梨北中	平和・人権教育・国際連帯の広がりをめざして
障害児教育		守岡志のぶ	加納岩小	「自然との共生」を目指した「環境教育」のあり方 －身近な環境や自然に対し 主体的に関わることのできる子どもの育成－
福祉教育		吉岡美奈子	八幡小	情報活用能力を高める研究
食教育		小林 智子	祝 小	部会参加者不在のため今年度は不成立
平和・人権教育と 国際連帯		町田 信次	大藤小	開かれた学校づくりをめざして
環境教育		山宮 由紀	勝沼小	豊かな教育を子どもたちに 豊かで創造的なゆとりある教育課程の編成
情報化社会と 教育・文化活動		中村 英彦	松里小	教育評価
選抜制度と 進路保障				
保護者・ 地域住民との提携		竹川由美子	玉宮小	
教育条件整備		久保寺章夫	大藤小	
カリキュラムづくりと 総合学習		山縣 重人	日下部小	
教育評価		古屋 真吾	山梨南中	

(2) ブロック交流研究部会

共通テーマ

「地域が抱える教育課題を共有し・解決に向けた交流を行い、同一地域の小中連携や小中の系統的な教育のあり方を追究する。」

	ブロック名	ブロック長	ブロックテーマ
山梨支会	山梨北ブロック	飯島 貴 (山梨北中)	・小中の連携を深め、山梨北ブロックの児童・生徒の指導に生かす
	山梨南ブロック	武井 由美 (日川小)	・望ましい小中連携のあり方について
	笛川ブロック	岡 京子 (牧丘三小)	・小中学校の連携を深めると共に、地域の様子や子ども達の実態を知り、日頃の子どもたちの指導に役立てよう。
甲州支会	塩山ブロック	古屋 宏記 (塩山南小)	・小中学校の交流を図る中で、地域の様子や子どもたちの様子を知り、連携して塩山中学区の子どもたちを育てていこう
	塩山北ブロック	吉澤 直樹 (塩山北中)	・小中の連携をはかり、塩山北中学区の子どもたちを育てていこう
	松里ブロック	武井 文明 (井尻小)	・同じ地域に学ぶ子ども達のための、小中・地域の交流と連携を深めよう
	勝沼ブロック	中村真理子 (祝 小)	・お互いに交流し研究を深めることにより、小中の連携をはかり、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育のあり方を追求する
	大和ブロック	渡邊満智子 (大和小)	・小中学校の連携を深め、児童生徒の教育課題について共に考えよう

(3) 特別委員会

ア 教育環境研究特別委員会

(委員長 守屋博文委員…校長会・教頭会・教連・事務職)

イ 児童生徒連絡協議会

(会長 塩山北中学校生徒会会長 小室弘治 顧問教員 倉田憲一)

ウ 教育問題研究特別委員会

(校長会5名、教頭会4名、教連6名、学校代表各校1名)

4 部会運営

本年度は、教育研究部会25部会、ブロック交流研究会8部会の成立をみた。教育研究部会は年間10回、ブロック交流研究会は年間3回設定し研究活動を行った。年間計画等、きちんとした見通しの上にとつての研究活動を更に推進していくことが重要である。

5 研究日と研究集会

毎週水曜日を研究日とし、郡教協研究日以外は校内研究にあてて、この確保の努力が不十分の面もある。厳に校内行事等入れないで研究時間を確保してほしい。春季・秋季及び冬季研究集会は半日開催とし授業時間の確保を図った。春季・秋季研究集会は午後2時10分から、冬季教研集会は午後3時30分からの開催とした。

6 研究推進地区

甲州支会勝沼大和地区を研究推進地区とし、勝沼中学校・勝沼小学校を主会場に各種教研活動がおこなわれた。

7 教育講演会

8月17日(水)山梨市民会館

講師 都留文科大学教授 福田誠治先生

演題 『一人ひとりを大切にしたい教育とは -フィンランドの教育に学ぶ-』

Ⅲ今後の課題

「ゆとり教育」への批判、学力低下論、人事考課制度など、教育現場には様々な課題が山積している。このような中において私たちには、今日的教育課題を明らかにし、その克服に向けた取り組みを、子どもの人権・学習権の保障という視点に立ちながらどのように展開していかなければならないのか明らかにしていかなければならない。

教育改革が大きく叫ばれている現在、わたしたちは、教育に携わるものとして、自律的な姿勢での教育研究と、研究をとおした理論に基づいた的確な対応を行うことができるよう、この教協での組織研究をより充実させていかなければならない。

東山梨教育協議会役員

役員名	氏名
会長	矢崎富重(塩山中)
副会長	武井茂光(松里中) 青柳俊雄(井尻小)
事務局	竹川和彦(牧丘一小)
研究推進委員長	久保田英樹(勝沼小)
委員	矢崎富重(塩山中) 佐々木與比古(山梨小) 武井茂(牧丘一小)
	酒井哲(塩山北小) 兩宮幹雄(東雲小)
	武井茂光(松里中) 佐藤真理子(塩山南小) 水上邦彦(堀之内小)
	笠井恵子(牧丘二小) 樋口美根夫(八幡小)
会計	青柳俊雄(井尻小) 倉田憲一(塩山北中)
	久保田英樹(勝沼小) 那須文彦(山梨南中)
会計監査委員	酒井哲(塩山北小) 澤田隆雄(塩山北中) 古屋雅章(日川小)